

# 声の伝達者へ インタビュー

テープはしもととは、目の不自由な人から広報の文字が見えにくいという相談を受けたことをきっかけに発足したボランティアサークルです。

1980年(昭和55年)から活動を始め、40年以上にわたり、広報はしもとなどの刊行物を声でお届けしています。当初は、カセットテープに録音して、聞いてくれる人たちにメンバーが直接手渡しをしていましたが、現在は、デジタイというCD媒体でお届けするとともに、市ホームページで公開しています。メンバーが60歳~70歳代ということもあり、パソコンを導入し始めた頃は機械に慣れるまで苦労しました。

長きにわたり、目の不自由な人たちのために、広報はしもとを「声の広報」として届け続けていただいている「テープはしもと」の代表にお話を伺いました。

テープはしもと

代表 堀切 あけみさん



自由な人から広報の文字が見えにくいという相談を受けたことをきっかけに発足したボランティアサークルです。

聞き取りやすい声でお届けできるように、テレビ局のアナウンサーなどに講師として来ていただき、月1回程度標準語のインテネーションの勉強をしています。

また、吹き込む時は、写真やイラスト、グラフなどを音声のみで聞いている人にもわかりやすく伝えるようにメンバーで知恵を出し合いながら、詳しく説明しています。他にも、吹き込みの最初と最後にメンバーからのメッセージを入れるなど、楽しんで聞いてもらえるように毎月工夫を凝らしながら録音しています。



▲声の収録の様子



▶テープはしもとの皆さん

や介護施設での本の読み聞かせ、消費者トラブル防止の出前講座、ラジオ番組の収録などコロナ禍でも活動の幅が広がっています。

テープはしもとのメンバーが高齢化しているの、若い世代の人たちにも私たちの活動を知ってもらい、皆さんに声を届けたいです。



◀WEB版「広報はしもと」はこちら



◀「広報はしもと」に関するアンケート結果はこちら



**皆さんから愛される  
広報紙を目指して**

7月に実施したアンケート結果を基に、今月号から一部リニューアルを行いました。引き続き、多くの皆さんが読みやすい内容、デザインを心がけ、どの世代にも読んでもらえる広報紙を目指します。

「広報はしもと」は、紙媒体の他、パソコンやスマートフォンでも見ていただけるように、市ホームページ(左の二次元コード)や、電子ブック、フェイスブックでも配信しています。これからも市民の皆さんに楽しんで読んでいただけるような記事を掲載し、橋本市のことをもっと好きになってもらえるような紙面づくりに努めます。

● 問い合わせ 秘書広報課 ☎33-2676

## 広報はしもとが できるまで

「広報はしもと」がどのようにできあがっていくのか、編集会議から皆さんのご家庭に届くまで順を追って紹介します。



### ②撮影・取材

広報担当がさまざまな場所に出向き、写真撮影やインタビューなどを行います。写真は、人物や場所の魅力を引き出せるよう工夫しながら撮影しています。



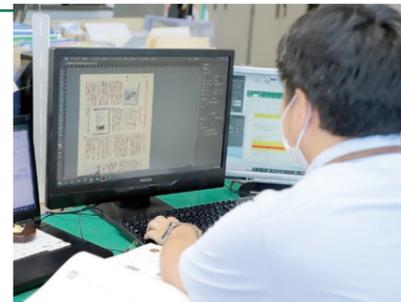
### ①編集会議

各課から出てきた原稿をどのように掲載するか毎月秘書広報課の職員が考えています。特集など大きな記事は関係部署と打ち合わせしながら内容を決めます。



### ③原稿作成

ページを分担して、原稿を作成します。パソコンで専用ソフトを用いて文章や写真、イラストなどをレイアウトしていきます。



### ④出稿

広報担当が作成したデータを印刷業者に送信します。フォントや写真の色などを調整します。



### ⑤校正(原稿確認)

記事の各担当課および広報担当者で、誤字脱字や、わかりにくい表現がないかなどのチェックを行います。修正がないことを確認し、校了します。



### ⑥印刷

校了の連絡後、印刷業者が約1週間かけて26,100部(令和4年8月末時点)の印刷・製本作業を行います。



### ⑦納品・配布

完成した広報紙が届き次第、職員が2日間にわたって地区ごとに仕分けを行います。その後、区長の皆さんへ配送し、順次各家庭に配られます。



完成!

毎月月上旬には、各家庭に届くように作業を進めています。広報などが届かない場合は、お問い合わせください。なお、広報はしもとは各地区公民館や市役所でも入手できます。

● 問い合わせ  
● 配送に関すること  
総務課 ☎33-3720  
● 広報はしもとに関すること  
秘書広報課 ☎33-2676